

## 「北海道からの要請事項への対応」に関する質問

確認事項	回答
<p><b>【追加1】</b></p> <p>■ 有識者（佐々木准教授） ホームページによる情報発信について 動画や小中学生向けのコンテンツがあり、わかりやすさへの配慮が加わったと感じました。その上で以下の点を質問します。 どれくらいのアクセスがあったかを把握する方法はありますか。</p> <p><b>【追加2】</b></p> <p>■ 有識者（佐々木准教授） ツイッターなどのSNSの活用を検討する余地はありますか（幌延深地層研究センターの認知度を上げる手立てとして）。 近年、インターネットの情報を入手する方法としてスマホの割合が高くなっているかと思いますが、HPの全てのコンテンツはスマホでも支障なく閲覧できますか。</p> <p><b>【追加3】</b></p> <p>■ 有識者（佐々木准教授） HPや資料による広報を通して、小中高生に最も伝えたいメッセージがあるとしたらそれは何か。そのメッセージによって小中学生に何か行動が起こることを期待するとしたらそれは何か。 小・中学生向け、としたのはわかりやすさを強調するためか。高校生は一般レベルに含まれるか。</p>	<p>■ 有識者（佐々木准教授） アクセス数につきましては、ホームページの閲覧者にご確認いただける形式にはなっていませんが、動画資料のページは令和3年1月に新設してからこれまで約800件、一般の方・小中学生向け資料集のページは令和3年11月に新設してから約300件です。今後も、ツイッター等を通じて当該ページを紹介していきます。</p> <p>■ 有識者（佐々木准教授） 幌延深地層研究センター独自のツイッターはありませんが、原子力機構においては、約5,600人のフォロワーを持つツイッターの公式アカウントがあり、当センターでは、ホームページのほか、このような広報媒体も活用して積極的に情報発信しています。 端末に合わせた表示となる構成としておりますので、スマートフォンやタブレットでも支障なく閲覧いただけます。</p> <p>■ 有識者（佐々木准教授） まずは高レベル放射性廃棄物というものが存在し、それを適切に処分するための研究開発が進められていることを知っていただきたいと思っています。それを踏まえて一人ひとりがその課題に対して考えるきっかけとなること、さらには、より興味をもっていただき、ゆめ地創館や地下施設の見学に足を運んでもらうことを期待しています。 ホームページにおいては、「一般の方・小中学生向け資料集」として掲示しています。高校生については、一般の方向け資料を閲覧していただくことを想定しておりますが、難しいと感じる場合は、はじめに小・中学生向けの資料を閲覧いただければと考えています。</p>

確認事項	回答
<p><b>【追加4】</b></p> <p>■ 有識者（佐々木准教授）            グーグルで幌延深地層研究センターに入ると、トップページにあるバーチャル地下施設見学とバーチャルゆめ地創館見学が目を引きます。しかし「幌延深地層研究センターってどんなところ」の動画を見ると、導入として知るべきことが案内役の方によってわかりやすく説明されされています。これを最初に見た方がその先の関心へと結びつくのではないかと思います。しかしこの動画は「バーチャル～」よりずっと下方にスクロールしないと気づききれません。しかも見出しが「研究内容」となっているので難しい内容かと先入観をもたれクリックされないかもしれない。試みにトップページの上部に上げてみてはどうかという感想です。</p> <p><b>【追加1】</b></p> <p>■ 有識者（菅井フリーキャスター）            ホームページによる情報発信についての質問です。            サイトを拝見させて頂いていますが、情報が整理され、技術を駆使されて、一般の方にもわかりやすい説明の工夫を感じました。            ただ、情報量が多いため、観覧者が、欲しい情報にたどり着くことができているのか、という懸念もあります。            ホームページにアクセスする方は、どのぐらいの数でしょうか。            内訳として、専門的な知識を持つ方が多いのでしょうか。または、一般の方が多のでしょうか。            今回、新設された小・中学生に向けたサイトは、かなり下段にありましたが、需要が多いようでしたら、トップ画面にバナーを貼るなどはいかがでしょうか。</p>	<p>■ 有識者（佐々木准教授）            ご意見を踏まえて、構成を見直しました。            見直しの内容としては、研究内容紹介「幌延深地層研究センターってどんなところ?」、「一般の方・小中学生向け資料集」をホームページトップ画面の中央に配置しました。</p> <p><b>【幌延深地層研究センターホームページ】</b>  <a href="https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/">https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/</a>            (5/20 (金) 更新)</p> <p>■ 有識者（菅井フリーキャスター）            幌延深地層研究センターのホームページのアクセスユーザー数は、令和3年度の1年間の実績で約14,600人です。            内訳につきましては、専門的な知識を持つ方、一般の方という分類では確認できませんが、Google アナリティクスサービスにより得られる参考情報としては、性別では男性が約75%、女性は約25%です。年齢別では24歳以下が約7%、25歳～34歳が約24%、35歳～44歳が約26%、45歳～54歳が約14%、55歳～64歳が約17%、65歳以上が約12%です。            新設した一般の方・小中学生向け資料集のページにつきましては、ご意見を踏まえて、構成を見直しました。            見直しの内容としては、研究内容紹介「幌延深地層研究センターってどんなところ?」、「一般の方・小中学生向け資料集」をホームページトップ画面の中央に配置しました。</p> <p><b>【幌延深地層研究センターホームページ】</b>  <a href="https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/">https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/</a>            (5/20 (金) 更新)</p>